

滋賀県 死生懇話会 関連企画

“マンガ好き” のみんなでトークしませんか？

漫画で語ろう「死生観」

オンライン開催

視聴だけでもOK

滋賀県では、誰もが避けられない「死」とどう向き合い、そこから限りある「生」をどう捉えるか、そういった根源的なテーマを真正面から考えることで、より豊かに生きるためのヒントを得ようと「死生懇話会」を設置して、取組をしています。

ところで「死」や「生」についての考え方って、漫画の中にもたくさん描かれていませんか。
 「この漫画の主人公の生き方に影響を受けた」「ある漫画を読んで「死」や「命」について真剣に考えた」
 …などなど、そんな経験をされた方も多いのでは？

そんな、自分にとって「死生観」を感じる漫画をテーマに、「生きること」「死ぬこと」について、フランクに語り合ってみませんか？

ゲストに京都精華大学マンガ学部教授の吉村 和真さんをお招きして、一緒に“マンガ好き”トークを繰り広げ、より楽しく生きるための元気を分け合えるひとときにしたいと思います。ご参加お待ちしております。

日時

2022年1月14日(金)



ゲスト

18:30~20:00

吉村 和真 さん

京都精華大学マンガ学部教授・専務理事

開催方法

オンライン (ZOOM)

定員

トークの参加者 10名 (参加者多数の場合抽選)
 ※視聴だけは300名

申込方法

1月7日(金) 〆切

しがネット受付システム (以下のURLまたはQRコード) にアクセスしてお申し込みください

URL <https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure/2428151114484762513>

※トークに参加される方には参加用、視聴だけを選択された方には視聴用のURLを後日メールでお送りします。



主催・問い合わせ先

滋賀県 総合企画部 企画調整課 (企画第二係)

E-Mail: kikaku02@pref.shiga.lg.jp TEL: 077-528-3312

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1

ゲストプロフィール

吉村 和真 さん

一緒にお話して
いただきます！



京都精華大学マンガ学部教授・専務理事

1971年、福岡県生まれ。立命館大学大学院文学研究科単位取得退学。現在、京都精華大学マンガ学部教授・専務理事。専攻は思想史・まんが研究。

「マンガを読む」ことは、いつごろ・どのようにして、日常的な行為となったのか。そして、そのことによって、マンガを当たり前のように読む人々＝「マンガ読者」はどのような思想や価値観、感性を身に付けてしまったのか。この二つの問いを柱として、主に明治時代から現在にいたるマンガを素材に、思想史・マンガ研究を続けている。

日本マンガ学会や京都国際マンガミュージアムの設立に奔走。

最近著に、この史代と竹宮恵子との共著『マンガノミカタ』（樹村房、2021年）がある。

死生懇話会について

滋賀県では、誰もが避けられない「死」について真正面から考えることで、限りある「生」をより一層充実させるヒントを得ようと、様々なお立場やご専門の方からなる「死生懇話会」を2020年12月に設置しました。

この懇話会は、どう生きるのが良いかといった価値観を押し付けるものではなく、「死」や「生」の捉え方等についての様々な考え方や取組の情報を発信していくことで、それに触れた方それぞれのアンテナにひっかかる“何か”を見つけていただき、より豊かに生きることのヒントを見つけていただけるものにしたという思いで開催するものです。

そして、今後、多死社会を迎える中で、行政の役割や行政へのニーズもこれまでとは違ってくるのではないかと考え、「死」を捉えた「生」のあり方について、皆さんと議論を深め、様々な視点からのご意見や情報をいただくことで、多死社会において行政ができること、人生100年時代に行政に求められることが何かを探りたいと考えています。

「死」をタブー視せず真摯にみつめ、「生」を考えること。そのことが滋賀県基本構想の理念とする「**変わる滋賀 続く幸せ**」の実現につながるよう、皆さんと議論を深めていきます。

〈死生懇話会 ～「死」を捉えた「生」のあり方を考えるヒントに～（県ホームページ）〉

滋賀県では、死生懇話会のご紹介とあわせて、「死」「生」に関する様々な取組、考え方について色々な方にインタビューさせていただいた取材記事等を県ホームページでご紹介しています。

URL：<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/316588.html>

